

学校教育目標  
自ら輝け 夢をつかめ  
～笑顔・感動 はつらつ植水～

学校だより

瑞穂



令和5年度2月号  
令和6年2月1日  
さいたま市立植水中学校  
HP uemizu-j@saitama-city.ed.jp

## 「また明日」

校長 山口 聡



2月から下校時間が30分遅くなりました。日没の時間が遅くなり、寒い日が続いていますが、少しずつ春が近づいてくるように感じます。今月は2年生自然の教室があり、生徒諸君が準備を進めています。自然の教室3日間が思い出に残る素晴らしい行事になるよう頑張ってもらいたいと思います。また、3年生は1月22日から上級学校への受験などが始まりました。そして2月には公立高等学校の受検が控えています。健康に気を付け志望進路合格に向けて、全力を発揮してほしいと思います。

本校では生徒会活動の一つとして「あいさつ運動」に取り組んでいます。生徒会から朝のあいさつ運動より放課後のほうが、多くの生徒同士があいさつを交わすことができるので放課後に行いたい、との提案から3学期のあいさつ運動は下校時間に行いました。昨年8月に「さいたま市子ども会議」が行われ「心を元気にする4つの言葉」(『大丈夫・大丈夫?』『また明日』『自分を信じて』『ちょっとずつでいいよ』)が決まりました。その内容を受けて生徒会があいさつ運動を考えてくれたようです。帰りのあいさつとして「さようなら」「部活頑張って」「また明日」など様々な言葉がけがされました。朝のあいさつとは、また一味違った心を元気にする言葉がけになったと思います。英語のあいさつでも「good-by (さようなら)」だけではなく「see you tomorrow (また明日)」、一般的でよくつかわれている親しみやすい挨拶ですので、子供たちにとって使いやすいのではないのでしょうか。

「また明日」の次に続く言葉は、みんなそれぞれ違うかもしれませんが、お互いを気にかけて思いやる言葉だと思います。あいさつ運動を通して植水中が目指す学校像の一つである「元気な挨拶と明るい歌声が響く学校」に近づいていると感じました。